



ノアの爽^{かぜ}風



～目次～

● 病院短信『新年のご挨拶』

理事長 吉村 一克

● 作業療法科だより

● 介護だより

● 日常の一コマ

● 『お昼のお散歩』

主演 ナナ

1月の予定

◆ 誕生日会&獅子舞い

1病棟: 10日(金) 14:15~

2病棟: 9日(木) 14:00~

3病棟: 8日(水) 14:00~

各病棟にて



キャンドルサービス



クリスマスの日、セントノア病院にてキャンドルサービスが厳かに行われました。



ハンドベル隊による演奏？



サンタクロースからのプレゼント？
患者さんも嬉しそうです(#^_^#)



ピアノ・ハンドベルの演奏に合わせて
キャンドル隊も合唱しました？



子供とボール遊び

先生がボール投げるからね 😊

いっよ！

ナナ、またあそぼ(´ω´)ノ

番外編

みんなで競争だ(´0´) / オ～

1

2

投げて

うん

～(´o´)ノヤッホー

お先でちゅ(・v・)イ

ガンバレ～！！

3

4

ちよつと待つてよ 😊

ナナ速すぎ 😊

あたち、一番 🐾

ナナは子供が大好きです！
ボール遊びが出来て嬉しいです
たのちい～～っ(*´ω`*)

病院短信

理事長 吉村 一克

『新年のご挨拶』

新年あけましておめでとうございます。世の中では新型コロナウイルス感染症は消滅したような雰囲気がありますが、当院のような高齢者を預かる施設ではまだまだ対応を必要としています。新型コロナウイルス発生から5年目の今年、どんな年になるでしょうか。

最近M&A(合併と買収)仲介業者から資料が送られてくるがよくあります。院長が「怪しいぞ」と思われているかもしれません。ただ世の中では、医療機関の倒産が過去最多のペースで進行中で、件数が2009年に記録された52件を大きく上回り、過去最多となる見込みだそうです。医療機関の経営基盤の弱さや、コロナ禍以降も患者数が回復せず、診療報酬の引き下げや医療費抑制政策の影響で、医療機関の収益が圧迫され、人件費や設備費などの運営コストが重くのしかかっていると報じられています。

一方、医療機関で働く看護師、介護士の人手不足は大きな問題で、利益を追求できる民間企業と異なり、国によって決められる社会保障関係費の診療報酬・介護報酬に頼る医療、介護関係では、低い賃金体系が離職者の増加に拍車を掛け、さらに残った医療従事者には重い負担のしかかるという悪循環に陥ってしまいます。看護師らは処遇について、「介護のスキル、知識、積み重ねが評価される賃金・昇給体系を取り入れ、頑張れば上がっていく仕組みを促進してほしい。」との声が聴かれています。

当院は開院以来、「どんな患者様でも受け入れる」「拘束はしない」「最後まで診させていたたく」という基本方針を守ってきました。いろいろと厳しい状況ですが、この基本方針だけは変えることなく今後も長く続けていければと思っています。

ところで我が家にはちよつと大型なワンコがいるのですが、シャンプーや爪切り、歯磨きなど定期的に入浴が必要で、嫌がって逃げたり怖い顔をしたりします。今、流行りの小型犬には長毛で、定期的に毛のトリミングが必要な犬種も多くいるのですが、噛み癖がある犬では、トリミング店で断られたり、動物病院では鎮静剤を使う必要があると言われてしまうそうです。そんな中、『DOGサロンParis』というお店が話題になっています。噛み癖があつたり唸るワンコでも、トリマーさんの優しい声かけで無麻酔でトリミングを行ってくれます。そのトリミングの動画がインターネットで配信されていて、その技術に感銘を受け、県外からトリミングに通う飼い主さんも多くなっているとのこと。皆様の令和7年が穏やかでよい一年になりますように願っています。



日常のーコマ

今月は2病棟の健太郎さん(80歳)です。健太郎さんは岩手県出身で9人兄弟の8番目で、中学卒業後、集団就職で上京されました。26歳の時にお見合いでご結婚され、お二人の娘さんがいます。36歳の時に機械加工会社を設立。奥様のお話では、会社設立後はほぼ休みなく働く日々だったそうです。その働きで会社の規模も徐々に大きくなり工場兼住居を2回建て替えたそうです。また、娘さん達もよく手伝ってくれていたそうです。そして、71歳頃になると元々激しい性格だったのがさらに怒りっぽくなったり、仕事の凶面が読めなくなるなど、認知症状が出始めました。心配した娘さん達が病院に連れて行くと、アルツハイマー型認知症と診断されました。その後も会社に行き、出来る仕事をしながら生活されていましたが、77歳頃から会社にも行かなくなり、部屋に閉じこもる・冬は薄着で夏に厚着をする・易怒性が増す等認知症の症状が強くなり、在宅での介護が難しく、他院の入院を経て令和5年9月に当院にご入院されました。



入院当初は落ち着かず、帰宅願望が強く、またスタッフへのつきまといがありました。時には他の患者さんと口論になったこともあり、職員が割って入り話を聞くと落ち着きを取り戻します。そして、入院生活にも徐々に慣れ、今では笑顔でスタッフのお手伝いをしてれています。他の患者さんが呼んでいると、スタッフよりも早く駆け付け、優しく声掛けして話を聞いてくれます。また、食べる事が一番好きで、おやつバイキングの時は毎回お皿にたくさん乗せて幸せそうに召し上がっています。夜の見回りで、ナナが病棟に来ると「かわいいなあ、かわいいなあ」とナナの頭をなでています。これからも穏やかに過ごせるよう、ケアしていきたいと思えます。



作業療法科だより

2024年も様々な活動にご参加頂きました！
2025年も昔を想起し懐かしむ体験、五感を通じて発散や安心を感じる体験、様々な体験を通じて入院生活もご本人らしく過ごして頂けるよう努めてまいります。
本年もよろしくお願いいたします。



介護だより

新年あけましておめでとうございます。寒さも日に日に増していますね。セントノア病院では、クリスマスにキャンドルサービス、新年には獅子舞とイベントが続きます。その他にも病棟のレクリエーションでカルタや福笑いなどを行い、お正月気分を味わっていただいています。この時期は寒さが厳しく、中々外に散歩には行けませんが、イベントやレクリエーションを行い、暖くなるのを待ちたいと思います。今年も一年間楽しく患者さんと過ごしたいと思えます。